

## みなとメディアミュージアム 2016 報告書

地域活性化を目的とするアート教育ワークショップにおける、主体性とシェアの重要性について

2016年 9月 30日

### ■開催概要

みなとメディアミュージアムは、茨城県ひたちなか市ひたちなか海浜鉄道湊線沿線を舞台に開催する現代アートプロジェクトです。全国からアーティストを募集し、コンペティションののち出展者と作品を決定します。出展された作品は会期中、那珂湊の駅やまちなかを中心に、ひたちなか海浜鉄道沿線や車輦内にも展示されます。「産(那珂湊地区商店街、ひたちなか海浜鉄道湊線)+学(主に大学教員、大学院生、大学生)+芸(アーティスト)」の三者からなる実行委員会により運営されており、芸術表現と地域との協働によるまちの活性化を目的として活動しています。

### ■地域内でのワークショップ概要

松井 ゆめ『流木でカモメを作ろう!!』(2016年8月8日)

海で拾った流木を使ってカモメを作るワークショップです。作ったカモメは那珂湊駅の一角に佇むキハ 204 で展示されました。

宝塚大学植松研究室デコるファミリー『那珂湊 DC ヘッドマークワークショップ』(2016年7月30日, 31日)

ひたちなか海浜鉄道のキハ 3710 車内でヘッドマークを制作するワークショップです。普段利用している列車の車内でヘッドマークを制作し、完成後は列車に取り付け走行します。

四千の日と夜プロジェクト『なづけ・ワークショップ』(2016年8月16日)

大野屋スーパー跡地で常識にとらわれず様々なもの・現象・感覚などに自分の好きなように名札をつけていくというワークショップです。

### ■那珂湊第一小学校でのワークショップ概要 (2016年6月30日)

・アーティスト 43 さんによる、旗作り

旗作りでは、それぞれ自分の家で眠っていた生地を使っての作業を行いました。旗の形は「MMM」の M の形になっており、駅に飾るとそれぞれの「M」が万国旗のように並ぶようになっています。



#### ・常磐大学・中村やすによる、旗の文字入れ

こちらの文字入れ作業では、みんなが考えた「まちの良いところ」をそれぞれにペンを使って書き出していきます。出来上がった旗是那珂湊の商店街に飾られました。



#### ・宝塚大学デザイン表現研究室による、ヘッドマークワークショップ

ヘッドマーク作りでは、宝塚大学スタッフと一緒に四年生の生徒たちが作品を作り上げていきます。ヘッドマークとは、電車の前方や広報に取り付けられるエンブレムのようなもので、これが実際に走行する列車に取り付けられます。



以上のワークショップで制作された作品はすべて、那珂湊のまちなか各所に八月中実際に展示されました。ワークショップの運営においては、「主体性」及び「シェア」を主眼に置き、昨年度より子供たちの作品制作の自由度を高めるとともに、作品展示場所をより人目につく商店街・駅・車両等に指定しました。また子供たちには親子での作品鑑賞、ワークショップ参加を促すフライヤーの配布を行いました。

今年度のみなとメディアミュージアムの作品展示、並びにワークショップは無事終了いたしました。来年度も小学校でのワークショップを継続して行うとともに、那珂湊第二高等学校の校舎の活用など、地域の間づくりに関わる新たな事業も行っていく予定です。

本活動については、ORFでのポスター発表で紹介させていただくとともに、活動内容の分析を重ねて行い環境芸術学会での発表を行う予定です。

助成金の使途は交通費となっており、すべてスタッフが5月から那珂湊に当ワークショップの準備、フィールドワーク、および当日の運営で行くために必要なものでした。

MMMの本活動が湘南藤沢学会による多々なるご尽力のもと実現できたことに関して、MMMスタッフ一同深く御礼を申し上げます。